

令和4年度事業報告及び決算報告

総 説

東京都交友会が平成25年4月に一般社団法人に移行して満10年が経過しました。この間、事務所の移転、所有不動産の売却、施設賃貸事業のための共同住宅の取得及び大規模修繕工事の実施など、様々な課題を解決しながら順調に事業を進めてきました。

また、令和2年春から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度の事業も一定の制約を受けましたが、各事業を中止することなく、開催方法の変更や人数制限を設けるなどの工夫を重ねながら、計画通りの事業を実施することができました。

一方、法人移行時に1,800名を超えていた正会員は令和5年3月31日現在1,074名となり、年々減少が続いています。また、年ごとに現金残高が減少していきなど、財政基盤の脆弱性も顕在化してきています。

このような中、令和4年度は、ホームページや都政新報で入会案内を広報するとともに、はがきによる個別勧誘を実施した結果、5年ぶりに入会者が28名になるなど、積極的な会員確保活動を継続しています。また、各種主催事業の充実と女性も参加しやすい新規事業の企画、創立75周年記念誌の発行に向けた準備などを行ってきました。さらに将来に向けた当会のあり方と、その裏付けとなる財政基盤の構築についての検討も進めてきました。

令和4年度の各事業については、定期総会、秋の大会・講演会、春秋のゴルフ大会、新年と秋の囲碁大会、春秋の麻雀大会、春秋のまち歩き、バス見学会、いきいき人生講座、会員活動レポート、都区政の話及び新年賀詞交歓会・新入会員歓迎会を計画どおり実施することができました。

駿河台サンライズビルにおける各種主催事業やサークル活動等への会場提供は、平成27年10月から交友会と東京都弘済会との共催による都区退職者を対象とする文化事業となっており、会議室等に係る賃借料の2分の1について、令和4年度も東京都弘済会に分担していただきました。

令和4年度の決算は、経常収益が3,813万余円、経常費用が4,216万余円で、税引前正味財産増減額は、403万余円の減少となり、対前年度比2,182万余円の増加となりました。これは令和3年度に施設賃貸事業用共同住宅の大規模修繕工事費約2,100万円を執行したことによるものです。これに法人税等の131万円を加えると、税引後正味財産増減額は、535万余円の減少となりました。

以上に概説しましたが、令和4年度の事業実施状況及び財務状況は、以下の事業報告及び決算報告に記載のとおりです。

事 業 報 告

I 会員事業

1 定期総会、秋の大会の開催

(1) 定期総会 令和4年7月7日(木)

上野精養軒で開催 出席者112名

感染症対策のため、出席者は全員丸テーブルに間隔を置いて着席し、実施した。

佐々木克巳会長の挨拶の後、長寿会員に祝意を表し、記念品贈呈を行った。

引き続き会長が議長となり、以下の案件について議事を進め、全員異議なく了承された。

報告1 令和3年度事業報告及び決算報告

報告2 令和4年度事業計画及び収支予算書

報告3 任期満了に伴う監事の選任

議事終了後、昼食会に移り、出席会員相互の交流を図った。

(2) 秋の大会 令和4年11月10日(木)

上野精養軒で開催 出席者93名

引き続き感染症対策を実施して開催した。

大会は佐々木克巳会長の挨拶の後、公開講座に移り、元東京都副知事で東京都国民健康保険団体連合会理事長の佐藤 広氏に「オリンピック・パラリンピック2020大会の振り返り」というテーマでご講演をいただいた。

講演会終了後、昼食会に移り、出席会員相互の交流を図った。

2 会報及び会員名簿の発行

会員相互の情報交換による交流、親睦に資するため、交友会会報を年4回発行した。会報では、会の事業運営の状況や各主催事業の開催予定と実施報告、会員便り及び各サークルの活動状況に加え、秋の大会における講演、都区政の話、いきいき人生講座、会員活動レポートの講演内容を詳細に掲載した。また三行通信に掲載し、多くの会員の状況を伝えた。

会員名簿は前年度に引き続き令和4年10月に発行し、会員に配布した。

3 各種主催事業等

新型コロナウイルス感染症に引き続き留意し、安全対策を行いながら、事業等を次のとおり実施した。

(1) ゴルフ大会

令和4年5月11日(水) 参加者23名

令和4年10月12日(水) 参加者24名

大宮国際カントリークラブにおいて、予定通り実施した。

(2) バスによる施設見学会

令和4年7月21日(木) 参加者19名

令和2年度以降中止となっていた「大磯周辺の偉人たちの旧宅を訪ねる」をテーマに島崎藤村旧宅、澤田美喜記念館、旧吉田茂邸などを見学した。

(3) 会員活動レポート

令和4年9月5日(月) 参加者17名

元生活文化局長の井澤勇治氏を講師に迎え、「『寅さん』と旅と俳句と山頭火(弥次喜多へんろ道中記)」をテーマにご講演をいただいた。

(4) まち歩き

令和4年5月18日(水) 参加者9名

日本橋周辺の旧跡を訪ね、渋沢栄一の足跡に触れるとともに、貨幣博物館で貨幣の歴史を見学した。

令和4年10月25日(火) 参加者20名

新しくなった視察船「東京みなと丸」で東京オリンピック・パラリンピック後の新しい東京港見学を体験した。

(5) 開基大会

令和4年9月28日(水) 参加者14名

令和5年1月18日(水) 参加者15名

本会会議室にて開催した。

(6) いきいき人生講座

令和4年11月16日(水) 参加者17名

東京都健康長寿医療センター研究所主任研究員の清野論氏を講師に迎え、「メタボ予防からフレイル予防へのギアチェンジャー“普段の生活へのちょい足し”のポイント」をテーマにご講演及び予防のための実技指導をいただいた。

(7) 麻雀大会

第19回 令和4年11月29日(火) 参加者8名

第20回 令和5年3月16日(木) 参加者11名

ゴースタアネックス神田南口店にて実施した。

(8) 都区政の話

令和4年12月6日(火) 参加者14名

元水道局長、現日本オゾン協会会長の増子敦氏を講師に迎え、「誰もが知りたい水道の話」をテーマにご講演をいただいた。

(9) 新年賀詞交歓会・新入会員歓迎会

令和5年1月12日(木) 参加者19名

(うち新入会員6名)

令和2、3年度は中止となったため3年ぶりに本会会議室にて実施した。

(10) 東京都弘済会との共済事業への交友会会員の参加者はいなかった。

4 相談事業の実施

会員及び家族を対象として、毎月開催日を設定し、法律相談及び税務相談を実施した。

(1) 法律相談 相談員 弁護士 江村利明氏

相談件数 1件

(2) 税務相談 相談員 税理士 富田昭枝氏

相談件数 2件

5 会員の慶弔

(1) 長寿者に対する祝賀

白寿、米寿、喜寿を迎えられた会員を定期総会にお招きして記念品を贈り、その労をねぎらい長寿を祝福した。

白寿 3名、米寿 38名、喜寿 34名 計75名

(2) 叙勲受章会員に対する祝賀

叙勲受章会員には、会長からお祝いの手紙を差し上げ祝意を表した。

令和4年春 3名 令和4年秋 4名

(3) 物故会員に対する敬弔

物故された会員については、会長から弔意文を送付し弔意を表した。なお、会員及び家族の冠婚葬祭については、都民互助会、セレモア、東京福祉会に団体加入し、割安な料金で利用できるよう便宜を図った。

6 各種サークル活動への支援

会員の自主的な運営による趣味の会などのサークル活動に対し、活動の場の提供などの支援を行った。現在次のようなサークルが活動している。

俳句 月1回開催

短歌 コスモス短歌会所属の三枝英夫氏の指導により随時開催

川柳 月1回開催

謡曲 観世流が月1回開催

書道 交悠書会グループが月2回開催

囲碁 3～4グループが毎月利用

ギター 月2回程度土曜日に利用

その他 女性会員による弥生会を開催

なお、令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、活動自粛を継続しているサークルが一部あるものの、徐々に活動が再開されてきたため、1年間の会議室総利用実績は、108回(1,041名)であった。

II 公益助成等事業

一般社団法人に移行するに当たって作成した公益目的支出計画に基づく公益目的助成等事業などの公益目的の事業を実施した。

1 公益目的助成等事業

(1) 社会福祉事業等への助成

公益目的支出計画事業の一環として社会福祉事業等公益事業を実施する団体への寄付を行った。

令和4年度は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会、公益財団法人暴力団追放運動推進都民センター及び公益財団法人東京都結核予防会にそれぞれ10万円、東京善意銀行(東京都社会福祉協議会事業)に20万円、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会に30万円、以上合計80万円を寄付した。

(2) 講演会の開催

① 秋の大会における講演会を公益目的支出計画事業として位置づけ、一般公開で実施した。

② 講演会のテーマ設定などに資するため、公益目的支出計画事業として日頃より都政等に関する調査、研究を行った。

2 団体に対する後援・協力

一般財団法人東京都弘済会と共同して事業を実施するなど、友好団体との提携に努めるとともに、その公益活動等に対し後援・協力をを行った。

III 施設賃貸事業

平成28年2月に取得した賃貸事業用共同住宅「かぶらや」(新宿区高田馬場1丁目)による施設賃貸事業を次のとおり実施した。

1 新宿区への賃貸

新宿区の区立住宅として利用するため、平成28年(2016年)3月14日から令和13年(2031年)3月13日までの15年間の建物賃貸借契約を締結して新宿区に一括賃貸し、賃貸料等の収入を得ている。入居者の募集、管理等は新宿区が行っているが、入居者からの要望等で新宿区からオーナー対応を求められたものについては速やかに対応した。

2 建物管理

平成28年6月から日本ハウズイング株式会社に管理業務を委託して、建物の適切な維持に努めている。

令和3年度には、主に外壁やベランダ、廊下等を対象とした大規模修繕工事(工事費2,165万円)を実施したところであるが、令和4年度は給排水設備関係の調査を実施し、緊急性の高い給水設備工事の設計事務委託を行った。

3 施設賃貸事業による収支

施設賃貸事業による収益は、高田馬場1丁目物件の敷地内に設置した自動販売機の販売手数料等を含めて2,944万余円であった。これに対し、施設賃貸事業に係る経常費用は1,262万余円であり、施設賃貸事業の税引前の当期経常増減額は、1,682万余円のプラスとなった。

IV 会務その他事務事業の執行

1 代議員会、理事会等の開催

定款の規定に従い、会の運営に関する主要な案件を審議し決定するため、次のとおり代議員会及び理事会を開催した。

また、会の業務運営について検討・処理する常任理事会を適宜開催した。

本会の諸課題について検討するため設置した「会員確保委員会」、「事業企画委員会」、「財務及び将来構想検討委員会」及び「会報編集・情報管理委員会」の4委員会を、担当常任理事主宰のもとで開催した。さらに会報編集・情報管理委員会の下に設置された記念誌発行作業チームにより、交友会創立75周年・一般社団法人移行10周年記念誌の編纂作業を実施した。

代議員会 2回 理事会 4回
常任理事会 10回 各委員会 計17回

2 大都市退職職員団体との交流

大都市の退職職員団体が運営に関する諸問題について情報交換や協議を行うことを目的とする大都市退職職員

団体連絡協議会の構成員である札幌、川崎、名古屋、京都及び福岡の各市との間で情報交換を行った。

3 事務執行体制

前年度に引き続き、事務局長と常勤職員2名体制で事務を執行した。

V 会員の状況

令和5年3月31日現在の正会員の総数は1,074名であり、うち80歳以上の会員は622名で58パーセントを占めている。

(参考：令和3年度末 正会員 1,128名

賛助会員 20法人)

令和4年度

新入会員 正会員 28名

退会会員 正会員 82名(うち死亡退会55名)

令和4年度末 正会員 1,074名 賛助会員 20法人

(賛助会員の退会、新規加入は、なし)

(参考)年齢別会員数

(令和5年3月31日現在)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
50		60	1	70	25	80	59	90	32	100	2
51		61	2	71	24	81	43	91	38	101	1
52		62	7	72	24	82	47	92	25	102	1
53		63	4	73	29	83	49	93	25		
54		64	6	74	41	84	47	94	23		
55		65	10	75	42	85	45	95	29		
56		66	14	76	48	86	32	96	12		
57		67	13	77	40	87	28	97	9		
58		68	25	78	34	88	36	98	3		
59		69	25	79	38	89	36	99	-	計	4
計	-	計	107	計	345	計	422	計	196	合計	1074

(年齢の区分は、令和5年12月31日現在の年齢による。)

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度決算額	前年度決算額	対前年度増減額
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	776	527	249
特定資産受取利息	776	527	249
② 受取会費	4,724,610	4,358,000	366,610
正会員受取会費	2,592,110	2,642,000	△ 49,890
賛助会員受取会費	660,000	690,000	△ 30,000
その他受取会費	1,472,500	1,026,000	446,500
③ 事業収益	29,257,128	28,991,748	265,380
施設賃貸収益	28,993,128	28,775,748	217,380
貸室賃貸収益	264,000	216,000	48,000
④ 受取寄付金	442,000	517,000	△ 75,000
受取寄付金	442,000	517,000	△ 75,000
⑤ 雑収益	3,705,750	3,717,360	△ 11,610
受取利息	3,564	3,615	△ 51
弘済会分担金	2,669,040	2,669,040	0
雑収益	1,033,146	1,044,705	△ 11,559
経常収益計	38,130,264	37,584,635	545,629
(2) 経常費用			
① 事業費			
会報費	2,549,044	2,559,230	△ 10,186
表彰費	2,058	62,058	△ 60,000
慶弔費	425,270	474,391	△ 49,121
諸事業費	507,120	219,102	288,018
総会及大会費	1,651,291	1,433,465	217,826
支払寄付金	800,000	800,000	0
役員報酬	861,634	833,298	28,336
役員旅費	545,672	487,278	58,394
給料手当	6,526,490	6,526,489	1
旅費交通費	1,181	0	1,181
福利厚生費	826,850	1,070,258	△ 243,408
退職給付費用	219,800	471,000	△ 251,200
光熱水費	1,408,200	1,088,268	319,932
建物管理費	1,475,760	1,475,760	0
火災保険料	155,240	154,219	1,021
地代家賃	7,942,227	7,920,420	21,807
固定資産税	1,917,100	1,871,000	46,100
印紙税等	6,000	6,000	0
消費税	0	0	0
修繕費	1,033,670	22,524,495	△ 21,490,825
減価償却費	4,875,564	4,891,119	△ 15,555
備消耗品費	46,789	87,327	△ 40,538
通信運搬費	126,128	137,848	△ 11,720
印刷製本費	1,914	1,914	0
賃借料	1,220,564	1,177,508	43,056
手数料	194,955	209,203	△ 14,248
雑費	84,667	120,617	△ 35,950
委託費	405,042	405,042	0
会議費	92,735	61,633	31,102
事業費計	35,902,965	57,068,942	△ 21,165,977

科 目	当年度決算額	前年度決算額	対前年度増減額
② 管 理 費			
総会及大会費	527,192	457,650	69,542
役員報酬	574,428	555,528	18,900
役員旅費	257,968	230,362	27,606
給料手当	2,512,970	2,512,971	△ 1
旅費交通費	455	0	455
福利厚生費	318,371	412,089	△ 93,718
退職給付費用	130,200	279,000	△ 148,800
光熱水費	81,948	58,398	23,550
火災保険料	0	2,901	△ 2,901
地代家賃	1,072,779	1,069,836	2,943
印紙税等	4,000	4,000	0
減価償却費	15,555	17,498	△ 1,943
備消耗品費	18,020	33,626	△ 15,606
通信運搬費	48,566	53,075	△ 4,509
印刷製本費	736	736	0
賃借料	469,972	453,390	16,582
手数料	2,446	2,842	△ 396
雑 費	32,598	46,440	△ 13,842
委託費	155,958	155,958	0
会議費	39,742	26,414	13,328
管 理 費 計	6,263,904	6,372,714	△ 108,810
経 常 費 用 計	42,166,869	63,441,656	△ 21,274,787
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,036,605	△ 25,857,021	21,820,416
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 4,036,605	△ 25,857,021	21,820,416
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	△ 4,036,605	△ 25,857,021	21,820,416
法人税、住民税及び事業税	1,314,400	70,000	1,244,400
当期一般正味財産増減額	△ 5,351,005	△ 25,927,021	20,576,016
一般正味財産期首残高	718,790,845	744,717,866	△ 25,927,021
一般正味財産期末残高	713,439,840	718,790,845	△ 5,351,005
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	713,439,840	718,790,845	△ 5,351,005

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	40,576	17,694	22,882
普通預金	18,935,494	19,678,843	△743,349
定期預金	42,000,000	42,000,000	0
郵便振替	7,569,549	3,088,040	4,481,509
前払金	209,000	0	209,000
流動資産合計	68,754,619	64,784,577	3,970,042
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,800,000	1,450,000	350,000
預り敷金引当資産	6,900,000	6,900,000	0
修繕費積立資産	2,600,000	5,600,000	△3,000,000
特定資産合計	11,300,000	13,950,000	△2,650,000
(2) その他固定資産			
建物	108,154,770	112,829,435	△4,674,665
建物付属設備	1,529,406	1,745,860	△216,454
土地	530,891,100	530,891,100	0
電話加入権	80,000	80,000	0
出資	10,000	10,000	0
敷金	3,270,000	3,270,000	0
その他固定資産計	643,935,276	648,826,395	△4,891,119
固定資産合計	655,235,276	662,776,395	△7,541,119
資産合計	723,989,895	727,560,972	△3,571,077
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	471,980	291,980	180,000
預り金	63,675	58,147	5,528
未払法人税等	1,314,400	70,000	1,244,400
未払消費税等	0	0	0
流動負債合計	1,850,055	420,127	1,429,928
2 固定負債			
退職給付引当金	1,800,000	1,450,000	350,000
預り敷金	6,900,000	6,900,000	0
固定負債合計	8,700,000	8,350,000	350,000
負債合計	10,550,055	8,770,127	1,779,928
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	713,439,840	718,790,845	△5,351,005
(内特定資産への充当額)	(2,600,000)	(5,600,000)	(△3,000,000)
正味財産合計	713,439,840	718,790,845	△5,351,005
負債及び正味財産合計	723,989,895	727,560,972	△3,571,077

(注) 公益法人会計基準により作成した実施事業にかかわる資産の当期末残高は以下のとおりである。



	総額	実施事業への配賦率	実施事業資産当期末残高
建物付属設備	1,529,406		
() 内が実施事業対象額: かぶらや計上分除く	(1,122,405)	0.4%	4,490
電話加入権	80,000	1.1%	880
合計額	1,609,406		5,370

令和4年度 監査報告書

令和5年5月16日

一般社団法人 東京都交友会
会長 佐々木 克巳 殿

一般社団法人 東京都交友会

監事 南 靖 武 
監事 立花 壯介 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの業務及び財産状況並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査を令和5年5月16日に行った。その結果につき次のとおり報告する。

記

1 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他重要な会議に出席し、業務の執行状況を把握するとともに、関係書類の閲覧等必要と思われる手続きを行い、業務執行の妥当性を審査した。
- (2) 財産状況の監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧照合等必要と思われる監査手続きにより、計算書類の正確性を審査した。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められない。
- ③ 新入会員増加対策や魅力ある事業の展開を積極的に進めるとともに、収支の均衡に向けて事業及び運営の改善を引き続き進められたい。また、施設賃貸事業を安定的に運営するため、計画的な修繕の実施など事業用資産の価値保全に取り組まれたい。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、交友会の収支状況並びに財政状態を正しく示しているものと認める。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。